

江戸時代の蒲郡



「参州宝飯郡牧山村山式給与五井村山論裁許條々」享保4年(1719)



「三洲西浦村と国形原村山林双論ニ付申渡之覚」延宝5年(1677)



「五井村・牧山村山論絵図」享保4年(1719)



「形原役所記録」(文政4年(1821)部分)
江戸時代後期(本ナランの背景です)

古文書(こもんじょ)とは、広い意味で「古い文書」「古くなった文書」の事を指します。クネクネとしたくずし字で記されているため、一見するとよく分からないものですが、過去の姿を伝えてくれる貴重な史料です。

残念ながら蒲郡は、過去に大きな風水害や火事にみまわれたこともあり、江戸時代以前の古文書はあまり多く残っておりません。一方で、少ないながらも確かに残っており、その中でも特に多いのが、「争論(争い)」に関するものです。こうした争論の多くは、海・山などの自然資源の利用をめぐる争論でした。海と山に囲まれ、平地の少ない蒲郡に住んでいた人々にとっては、重要な問題であったのです。言い換えれば、こうした争論の歴史は、蒲郡という地域を理解するうえで欠かすことのできない要素とも言えるでしょう。

江戸時代の蒲郡というと、市内の中心部に蒲形陣屋を構えていた竹谷松平を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。今回の企画展では少し視点を変えて、争論の古文書から江戸時代の蒲郡の姿を紐解いていきます。

会期中
イベント
情報は公式HPや
公式Xで随時更新!

● 古文書・くずし字初心者講座 | 11月1日[土] 13:30~15:30

江戸時代の古文書をテキストとして、読み方のコツや扱い方について伝授します。定員10名。要予約。
10月26日(日)までに博物館窓口または電話、インターネットでお申し込みください。

● ギャラリートーク | 11月8日[土] 13:30~14:30

学芸員による展示解説です。予約不要。開始時刻に1階特別展示室へお集まりください。

● 戦国武将スタンプラリー | 11月1日[土]~30日[日]

博物館内でスタンプを集めるとかわいい景品がもらえます。1日1回までですが、会期中は何度でもチャレンジできます。

公式HP



公式X

